

名古屋市立大学における大学機関別認証評価
及び選択的評価事項に係る評価の結果について

1 認証評価機関

独立行政法人大学評価・学位授与機構

2 評価結果通知日

平成23年3月25日

3 評価結果

(1) 大学機関別認証評価の結果

大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている。

○ 主な優れた点

ア 医学部、薬学部、看護学部の連携による地域社会での学習等を通して、課題探究能力及び社会に通用する学士力の育成に取り組んでいる。（「医療系学部連携チームによる地域参加型学習」：21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」採択事業）[基準5]

イ 医療系大学等の11大学が連携し、医薬系の総合教育連携を図りながら、臨床薬学教育プログラムに取り組んでいる。（「6年制薬学教育を主軸とする薬系・医系・看護系大学による広域総合教育連携」：20年度文部科学省「戦略的大学連携支援事業」採択事業）[基準5]

ウ 薬学研究科においては名古屋工業大学との間で単位互換に関する協定を結び、両大学間の単位互換講義を拡充するとともに、新たな連携科目を順次開講している。（「薬工融合型ナノメディシン創薬研究者の育成」：20年度文部科学省「大学院GP」採択事業）[基準5]

エ 「バナナ・ペーパーを利用した環境教育—多面的環境教育による、持続可能な社会形成主体の自己形成へ—」（18年度文部科学省「現代GP」採択事業）について、支援期間終了後も、部局横断的な教員の協力の下、学外実習を取り入れながら環境問題を学ぶ教育を継続している。[基準5]

○ 主な改善を要する点

ア 多くの研究科の博士後期課程においては、入学定員充足率が低い。[基準4]

イ 滝子キャンパスを中心に、バリアフリー化されていない建物が多い。[基準8]

ウ FD／SD活動が不十分である。[基準9]

○ 更なる向上が期待される点

ア 男女共同参画室を設置し、積極的に男女共同参画を進めている点は評価できるが、学部・研究科によっては女性教員比率が低く、引き続き全学的に女性教員比率を高めて行くことが望まれる。[基準3]

イ 学位審査に関連した不祥事に対応して、「教員の倫理に係わる行動指針について」の作成や引用ルールの周知を図るなどの対策を講じていることは評価できるが、再発防止へ今後一層の取組が期待される。[基準5]

(2) 「選択的評価事項 A 研究活動の状況」に係る評価の結果

目的の達成状況が良好である。

○ 主な優れた点

- ア 平成20年度文部科学省再生医療の実現化プロジェクト「幹細胞治療薬開発領域」に採択されている。
- イ 医学部・医学研究科の競争的外部研究資金の獲得実績が優れている。
- ウ 文部科学省の科学技術振興調整費によるプロジェクトをはじめ、いわゆる国家プロジェクトにかかわる研究が活発に展開されている。
- エ 厚生労働科学研究費補助金の大型プロジェクトとして「エイズ対策研究事業」（17～19年度）に採択され、さらに、その成果が明らかになったことから更に3年間（20～22年度）の継続事業として採択されている。

○ 更なる向上が期待される点

- ア 「薬工融合ナノメディシン創薬研究者の育成」プログラムにより、材料科学と創薬生命科学を融合した新しい研究分野の展開が期待できる。

(3) 「選択的評価事項 B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」に係る評価の結果

目的の達成状況が良好である。

○ 主な優れた点

- ア 20年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」として、「医療・保健分野における復帰と能力向上を支援する自己研鑽プログラム」及び「地域—大学連携による地域医療ニーズに対応した薬剤師リカレント学習支援プログラム」が採択され、既卒者を対象にした専門職業人教育の充実に貢献している。
- イ 19年度厚生労働省「老人保健健康増進等事業」として、「高齢者の健康づくりのための地域ボランティアリーダーの養成に関する調査研究事業」が採択され、19～21年度まで「高齢者健康づくり指導者養成セミナー」を実施した。

参考

○ 大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準

- 基準1 大学の目的
- 基準2 教育研究組織（実施体制）
- 基準3 教員及び教育支援者
- 基準4 学生の受入
- 基準5 教育内容及び方法
- 基準6 教育の成果
- 基準7 学生支援等
- 基準8 施設・設備
- 基準9 教育の質の向上及び改善のためのシステム
- 基準10 財務
- 基準11 管理運営

○ 選択的評価事項の評価結果を示す記述（4段階）

- ・ 目的の達成状況が非常に優れている。
- ・ 目的の達成状況が良好である。
- ・ 目的の達成状況がおおむね良好である。
- ・ 目的の達成状況が不十分である。